

西田小学校 同窓会 会報



発行者 西田小学校同窓会

ホームページを開設します

<http://nishita.biz>

同窓会会長 中澤 一郎 (13期生)

同窓会の皆様にはご家族おそろいで新しい令和2年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

西田小学校は新しい取り組みに積極的でユネスコスクールとなつてからは更に力強く歩んでいます。

昨年(令和元年)暮れには全国レベルの賞(ESD大賞)を受賞しました。詳しくは次ページの校長先生のご挨拶をお読みください。

さて、2020年は課題であったホームページを開設し、常に同窓会の活動がタイムリーに見えるようにしていきます。今後はパスワードを利用した会員専用の

ページを追加する予定です。セキュリティや個人情報の保護の問

題がありますので慎重に取り組んでいきたいと思ひます。これに伴い、年1回の「会報」は従来通りに発送させていただきますが、毎年8月に発行している「同窓会からのおたより」は、印刷物での発行および発送を廃止します。

まずはスタートです。ホームページにアクセスしてください。

メール通信網・IT活用は将来のIT社会を見据えて会員の意識向上が同窓会発展と存続のカギとなります。

これには皆様方のご協力が必要ですのでよろしくお願いいたします。



懐かしの学校で再び

西田小学校 校長 鈴木 朝代 先生

令和元年度(平成31年)4月より、西田小学校校長を拝命いたしました、鈴木朝代です。よろしくお願いいたします。

私は、昭和63年度4月から11年間、教員として西田小学校に勤務しておりました。西田小には、2度目の着任となります。奇しくも、時代が昭和から平成へ、平成から令和へと移りゆくその年に、親愛なる西田小学校に着任できたことを大変うれしく思っております。

教員時代は、2人の我が子の出産、子育てをさせていただきました。教員としても、母親としても成長させていただいた学校です。同僚だった先生方とは、今でも仲良くしていただいています。当時は、各学年、3～4学級編成で、子育て中の先生方が多く、常に、体育軽減や産育休代替の先生が勤務されていました。私の在任中に、創立50周年を迎えました。記念誌作成のために、石橋昌雄先生が学童疎開の地に赴いて取材されたことにとても感動しました。また南校舎2階が「ゆうゆうハウス」になりました。何度も話し合いの場をもったことを覚えています。子供たちは、今の西田の子供たちのように、賢く、そして男女の仲が良かったです。でも、当時の子供たちの方が、寸暇を惜しんで外で遊んでいました。一つ一つが懐かしい思い出です。

そして、創立77周年の今年、西田小学校にうれし

い出来事がありました。

4年前よりユネスコスクールとして、ESD 推進を目指して取り組んできた教育活動が高く評価され、「第10回 ESD 大賞 小学校賞」をいただきました。11月30日に、福山市立大学で行われた第11回全国ユネスコスクール大会において、表彰していただきました。

①取組の整理、発信がきちんとできていること

②ホールスクールアプローチで学校力が向上していること

③ESD子供報告会(2月の土曜授業)を行っていること等、様々な観点から高く評価していただきました。

今後もさらなる教育活動の発展のために、学校、家庭、地域が一体となって力を尽くしていきます。つきましては、同窓会の皆様からの教育活動へのご協力を心よりお待ち申し上げます。よろしくお願いいたします。

ESDとは

文部科学省のホームページより

Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む(think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESD は持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

サマーキャンプが開催されました

2019年7月6日(土)にサマーキャンプが開催されました。

毎年恒例のサマーキャンプです。おやじの会主催で同窓会が協働・協賛しています。

午前の部では水難救助「着衣水泳」を体験。昼の部は学校ではできない体験ということで備蓄倉庫内の備蓄品と炊き出し用の大釜を運びだし夕食を調理して防災食を活用する防災避難体験。消防署の協力で消火・煙体験・

AED や三角布の使い方を、また。警察の方からは防犯・防災について学びます。回収車(ゴミパッケン)を体験しながらゴミや環境問題を考えます。夜の部は同窓会の「ミニ遊び市」です。竹馬・けん玉・ベーゴマ・メンコ・紙飛行機・あやとり・お手玉・アートバルーンをしました。最後は花火大会で盛り上がりしました。



「西田の丘フェス2019」が開催されました

2019年11月23日(土) 勤労感謝の日に本年度で4回目の「西田の丘フェス2019」が開催されました。

地域と学校の交流を図る目的で同窓会・学校支援本部が中心となり4年前に始まりました。町会や商店会のご協力やご協賛もいただいております。西田小合唱教室の児童、先生のバンド、松溪中吹奏楽部、地域やいろいろな所で活躍しているグループにボランティア出演してもらっています。特に先生バンドと副校長先生の所属バンドは児童たちの人気です。



「昔あそび」をしました

2019年12月14日(土) に1年生と「昔あそび」をしました。保護者・同窓会・地域の方々と「あやとり」「お手玉」「おはじき」「はねつき」「けん玉」「こま」「ベーゴマ」などの遊びをして、子どもたちの挑戦心を養います。楽しそうな子どもたちの元気な声に圧されます。

学習発表会が開催されました

2019年11月15日(金)、16日(土) に学習発表会が開催されました。

本年は作品展覧会です。全児童の作品が体育館に集合しました。作品は自分自身で創意工夫し、どれも素晴らしい出来栄でした。

15日(金)の夜は働いている保護者のためにゆっくり鑑賞できる「トワイライトミュージアム」として9時まで開館という独創的な趣向で、多くの方々が訪れ賑わいました。

また、副校長先生が光のオブジェを校舎に映し出すという素晴らしい演出をされました。



同窓生よ集まろう!

13期 ミニ同期会

浅野 弘

恒例の忘年会を恒例の新宿「中華レストラン随園」で開催しました。

高貴光礼の皆が集まり病気の話をしながらも元気な一面も見せて楽しいひと時をすごしました。

令和2年には喜寿を迎えます。喜寿の会開催でさらに元気にという思いです。



左から:中澤、志摩、土屋、東条、半澤(御嬢さん) 小林、森谷、井草、竹内、浅野

前列左から:田苗(中川)、田名網(柏木)、半澤(吉田)

13期 6年2組クラス会

中村 克

7月7日に、荻窪の「魚こう」でクラス会を行いました。

今回は、アメリカから参加した森谷君を含め、合計9名の参加。

残念ながら、大島先生は、療養施設に入られたこともあり、欠席されました。

近況を各自報告してもらいましたが、やはり健康の話が中心になりますね。

終了後、2次会を近くの喫茶店でやり、盛り上がりました。



前列左から、中村、小川、清澤、野口(杉)、多田

後列左から、田名網(柏木)、灰谷、森谷、小林(内藤)

16期 6年1組クラス会

小池 達哉

2019年11月2日(土)、2年ぶりのクラス会を行いました。ここ10年ほどは、阿佐ヶ谷にある同級生の亀田さんのお店に、お世話になっていましたが、今回は会場を新宿に移し、高齢者が出席しやすい昼間の開催としました。

担任の大塚(竹中)朝子先生は、療養中のため今回も欠席をされました。直前に2名のキャンセルがありましたが、15名の参加となり、先ずはこの年齢になると定番となった、各自の病気自慢から始まり、食事と昼酒を味わいながら趣味の話など近況報告で大いに盛り上がりました。

2次会として会場をカラオケ店に移動、今度は自慢の「のど」をそれぞれが披露しました。名残は尽きない、まだまだ話したい、歌いたいと希望がある中、夕方5時半過ぎに、次回の再開を約して散会となりました。



前列左から、佐藤博己、堀野(青田)幸子、関あい子、輪島(遠藤)恵子、原(長谷川)さかえ、野口(渡辺)芙美子、亀田伊都子

後列左から、小池達哉、大竹稔、市橋和彦、早川邦彦、新倉毅、国定治孝、佐藤隆三、岡田尚人

19期 6年5組「だだっ子の会」 クラス会

松井 栄子

「だだっ子の会」は2019年4月19日(金) 府中ホテルコンチネンタルにてクラス会を催しました。卒業時55名のうち、残念ながら亡くなられた方5名、他住所が不明の方17名を除き33名にご案内を出しました。参加者は担任の山下岩夫先生と奥様に加えて、男性8名、女性10名の総勢20名の盛会となりました。

山下先生は変わらず府中市是政にお住まいで、昨年卒寿(90才)を迎えられました。多少足が弱くなられたもののお元気で昔の教え子たちと会えるのを楽しみに(事前に名簿や卒業写真など幹事から取り寄せ予習をされるほど)されてました。そしてホテル内での2次会にも参加され皆との歓談を楽しまれました。我々「だだっ子たち」も古希を迎えるタイミングでダブルでのお祝いの会となりました。



後列左より 山本、菅沼、土屋(宮島)、小野田(澁谷)、藤原、足立、長谷川
中列左より 門脇、森田、高野(武井)、近藤(金子)、奥村、宮崎(浦上)
前列左から 染田屋(大見)、松井、林、山下先生、内野、岩城(綿貫)

この会は言い出しっぺの染田屋(大見)さん松井と山本、森田の4人で昨年の秋から準備をしました。大切な現住所確認作業において6年1組の安藤公一氏に大変お世話になったことを申し添え改めてお礼を申し上げます。

皆さんが、先生やそれぞれと十分にお話できるようにと、世話役としての心配をよそに、まあかつての6年5組でもこれほどにぎやかで闊達であつたろうかと思うほどの盛り上がりでした。私の記憶では数十年ぶりのクラス会、永くご無沙汰してしまった先生にちょっと恩返しできたかなと思ったり、自分を含め皆いいおじさんお婆さんになった「だだっ子たち」の顔を見てお互いにこの元気を交歓してこれからも元気に生きたらと感慨に浸った一日でした。



山下 岩夫 先生

20期 6年2組クラス会

萩原 伸一

昨年は6月11日に恵比寿の「蔵」という店を借り切ってクラス会を開催しました。田代秀一君のウクレレ演奏などで大いに盛り上がりました。今回の参加者は17名。あまり多くないように聞こえますが、実はここ30年位ほぼ毎年クラス会を開催しています。土持嗣郎君は、時には、はるばる九州からこの会のために上京してくれます。

何年前には、懐かしい思い出の詰まる西田小学校周辺の散策も行いました。

これも毎回幹事を務めてくれている角田美枝子さんやクラス全員51名の名簿を完璧に整備してくれた加藤和夫君のお陰だと皆感謝しています。

実は私は、5年生で転校してしまい卒業していませんが、クラスの皆が、「萩原君が可哀そうだから」と名簿に入れてくれたので参加できています。

今年は、古希を迎えますが、この素晴らしい仲間たちとのクラス会は、喜寿、卒寿、米寿と続いていくと思います。

今年の「古希祝クラス会」、幹事さん大変ですが宜しくお願いします。



同窓生よ集まろう!

21期 6年4組クラス会

世良 隆明

昨年11月で担任の余公先生は90歳の卒寿を迎えられ、<余公先生の卒寿を祝う会>として2019年4月13日(土)に先生のご自宅近くのレストランで、6年4組のクラス会を開催しました。教え子である同窓生の浜田くんも特別に参加され、全員で18名の盛大な会となりました。短い時間でしたが、先生を囲んでみんな和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。

我々のクラスは余公先生の最初の卒業生であり、今回はクラスメンバーから原稿を募り、過去20年間のクラス会の写真なども網羅した「ロクヨン クラス新聞」を作成し、当日配りました。みんな当時にタイムスリップしたようで、懐かしい昔話に花が咲き大いに盛り

上がりました。先生にはお祝いの記念品と花束をお贈りし、また次回全員が元気で再会できることを祈念して、和やかな会を終了しました。



<3列目> 鵜名山、林、武藤、浜田、竹口、鈴木、世良、高木、石丸
<2列目> 鵜名山、中谷(満江)、宇田(田辺)、上野、田中(春日)、並木(津田)、松岡
<1列目> 余公先生

21期 6年4組クラス旅行

世良 隆明

またクラス会当日に我々のクラス旅行である「64旅倶楽部」の計画も持ち上がり、前回の「北海道」に続いて、今回は「四国：戻り鯉と讃岐うどん食べまくりの旅」に決まりました。時期は秋がベストとなりましたが、台風の影響を考え10月下旬の24日から2泊3日で設定し、9名の参加となりました。では、ここから四国旅行珍道中記のはじまりです。

我々の祈りが通じたのか、台風19号・21号の合間を縫って天気にも恵まれ、10月24日の朝を迎えました。参加者の9名にはそれぞれ役割があり、団長以下レンタカー運転担当&助手、戻り鯉担当、讃岐うどん担当などを決め、美味しいお店を事前調査して現地に乗り込みました。

24日は高松空港到着後、お昼に「釜玉うどん」を頂き、午後に金毘羅参りをしました。小学校時代と違って、我々も寄る年波には勝てずゼーゼーハ〜ハ〜しながら約800段近い階段を登り、全員が本宮にたどり着き無事に参拝できました。その後松山に移動し、夜は「宇和島鯛めし」を堪能。これはうまい!と、みんな舌鼓でした。

翌25日は朝6時半から重要文化財でもある「道後温泉本館」で朝風呂を楽しみ、「松山城」へ。お城

の見学なのに何故かロープウェイやリフトに乗り、みんな笑顔で城本丸へ登頂?できました。お昼には高知県に移動し、四万十川で「天然ウナギ」を全員涙ながらに・・・頂きました。夕方には桂浜で竜馬像見学と美しい夕日を見る予定だったのですが、到着したら既に真っ暗。照明の関係で首なし竜馬像が見えるだけなので早々に退散し、夜は「鯉のたたき」でお腹一杯。幸せなディナータイムでした。

そして、あっという間に26日を迎え、徳島県にあるスリリングな吊り橋「かずら橋」へ。足元はすき間



だらけで、渡るとギンギンと音をたてて揺れるのでみんな顔面蒼白! 高所恐怖症の人は見学と相成りました。

最後に、南国土佐を後にして〜♪を歌いながら「はりまや橋」を見学。思ったより小さな橋でしたが、こうして64旅倶楽部四国編は無事に終幕を迎えたのでした。四国四県をすべて走破し、ちょっと強行軍でしたが、思い出に残る楽しい旅でした。皆さんも、お時間があつたらぜひ四国旅行を楽しんで下さいね。



実は、小生、西田小学校には5年生の時、堺市の小学校から転入学し、卒業した者です。ここ杉並区荻窪(旧西田町)の生まれですが、父親の転勤で、富山市や神戸市堺市を経て、東京に戻った次第です。

転校してきた当時、丸出しの大阪弁、例えば、数字の七は“ヒチ”と読んだことをからかわれたので、じゃあ、東京の人間は“東”を“シガシ”というとする“ひがし”が正しいんちゃうかと言いついたものです。

また、いわゆる徒競走のことを“走り”と言ったり、“あのよう肥えてはる”などとしゃべっていたら最後に、“大阪弁使うたらあかんぜエ”と言われました。

堺市は大阪府第二の政令指定都市で(人口約83万)、この7月世界遺産として新たに登録された、百舌鳥・古市古墳群の内、百舌鳥(もず)古墳が所在している町であります。すなわち古墳のほかに銅剣銅鐸など多くのものが作製された古墳時代(4世紀から6世紀)にヤマト政権の拠点になりました。

また、室町時代から戦国時代には明やいわゆる南蛮(ポルトガルなど)との貿易港として、大いに栄え、織田信長や豊臣秀吉はここで鉄砲を輸入製造、戦国時代を制しました。

明治以降現代に到るまで、阪神工業地帯の一部として、鐵の庄延工場や石油の製油所その他の重化学工業、自動車部品などの多くの工場が立地しています。

茶人として名高い千利休は堺の出身、歌人の与謝野晶子もここで生まれ、昭和2年(1927)から亡くなる昭和17年まで杉並区南荻窪に居住していました。その跡地は現在公園になっています。

堺市での私の住まいは、市内南三国が丘(南海電鉄高野線堺東駅から徒歩5分の所にあつた)というところで、すぐ近くに、世界遺産の一つ田出井山古墳(伝反正天皇陵)があります。大きくはありませんがなんとなく物々しく存在感がありました。

しかし、当時(戦後間もなくの時代)はまだ、国民の間には、“天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス”の気風がまだ残っていたので、子供心にあまり近づきませんでした。



しかし、世界遺産に登録されるというので、この機会に思い出をかねて堺市へ出かけた次第です。

伝反正天皇陵の大きさは前方後円墳の形をしており

墳丘長 148メートル

後円部 直径 76メートル

前方部 直径 110メートル (wikipedia より)

また、自宅から歩いて15分くらいの所に世界最大の墳墓である大仙陵古墳(伝仁徳天皇陵)が見えてきます。前方後円墳を取り囲むようにお濠があり、当時、付近をたびたび歩き回りましたが大きすぎて、全体を把握出来ませんでした。

堺市によると、この陵は前方後円墳型で

古墳最大長: 840メートル、最大幅: 654メートル
墳丘長: 525.1メートル

墳丘基底部の面積 121,380㎡ ということです。

発掘は一部にとどまり、古墳の中の詳細や正確な埋葬者は不明とのこと。

また、伝仁徳天皇陵の南側に巨大古墳伝履中天皇陵(17代)があるほか合計23個ある市内の古墳が世界遺産に登録され。ほか100個近い埋葬者不明の古墳や古墳跡地があります。

仁徳天皇は16代で応神天皇(15代)の子、4世紀～5世紀前半在位紀元438年? 没す。紀元421年(南)宋に使い(宋では倭王讃といわれている人がこれに当たるか?)を出した。

履中天皇は仁徳天皇の子(長男)

反正天皇は18代で仁徳天皇の子(三男?) 紀元438年(南)宋に使い(宋で倭王珍といわれている人?)を出す。珍は宋から安東將軍の称号を得たとのことである。

中国は当時南北朝時代で、南部に宋(420～479)北部は北魏(423～532)が国を支配していた。



屋久島 宮之浦岳登山

12期 吉田 浩二

屋久島は、全島をカバーするのに国土地理院1/25,000の地図が7枚必要です。

偶々縁あって、今年のアウトドアイベントとして、九州で一番高い宮之浦岳(1,935m)に登ることになりました。100名山のひとつです。100名山を目指しているのではありませんが、高校山岳部から登った山のうち、100名山を数えたら十数年前に93座でした。それ以来縁がなかったものの、熊本へ移住したことで、屋久島に近づいた意識はありました。

娘が屋久島に呼ばれた仕事にかこつけて、息子二人を含めて中学生5人連れて行くが、車に一席ゆとりがあり、島では別行動で良いというので、便乗することにしました。

狙いは、淀川登山口から宮之浦岳へ行き、山中一泊して、縄文杉、ウィルソン株、三代杉経由で荒川登山口へ下山するという縦走コースです。喜寿目前の高齢者には、少し厳しいかなという心配もありましたが、少なくとも初日は快晴で、予報も安定しているので、単独行ながら出発しました。

本当は、前日のうちに渡島の予定が、思わぬ車のトラブルで、最終便高速フェリーに乗りそびれ、鹿児島で宿を捜し、翌朝一便で渡島、タクシーを頼んで登山口にたどり着きました。

身支度して歩きだしたのが、11時30分となり、予定の小屋には暗くなってしまうだろうと覚悟の上でした。登山口から50分の所に、前日入山ならば泊まったはずの淀川(ヨドゴウ)避難小屋でランチにしました。



縦走コース概略図



平成7年に環境省がかなりの予算で山道を整備したものの、その後の保守がされていないようで、木道、木の階段も崩れたところは障害物競争の様相、かなり体力消耗になりました。池塘の木道は良いのですが、1m近く地上から浮いた木の階段道は自然保護にもならず、むしろ歩きにくく、濡れたら滑りそうで、危なさを覚えました。

時間にゆとりがなく、空身往復50分とお薦めの黒味岳には寄らず、ひたすら宮之浦岳に向かいました。一つ手前の山からはこんな風に写るのですが、近づくたびに2度も

頂上が逃げて、その都度、降りては登り返し3度目にへとへと状態で着きました。



写っているのは、標識を写している自分の影です



既に、陽が傾き気味の頂上で小休止、目指す小屋まで3.5kmの道標でした。

下り初めて1時間、薄暗くなりヘッドランプを用意しました。ここでハプニング、新しい乾電池をセットしたのに点灯しません。

しばらくあれこれ試しましたが、諦めました。避難小屋までまだ1時間はありそうと値踏みして、暗い道を歩くリスクより野宿を選択しました。雨の心配は無さそうなので、風を避けられる場所を選び、ダウンジャケットや持っている衣類を着込み寒さ対策をしてから、腹ごしらえが終わったのが8時、さて明るくなるまでの9時間をどう過ごすか思案しました。月の出が遅かったこともあり、疲労した体を横たえ、晴天の星空を仰ぎ、ボーとしながらいつの間にか微睡ました。何度か体の位置を変え、空が明るみを見せた時、何とか危機を乗り越えたと安堵しました。もし天候が崩れれば、暴走老人の遭難騒ぎになったと自戒しています。泊まる予定だった避難小屋で、時間をかけて暖かい朝食を取りました。縄文杉手前からは、屋久島名物の雨のおもてなしまで受け、縄文杉ツアーの渋滞とすれ違いながら、長いトロッコ道を荒川登山口に達した時は、足がパンパンに腫れていました。

環境庁が縄文杉に施した南北の展望台とそれを巡る大仰な木道階段回廊は、世界自然遺産を守るつもりのお役所仕事の典型で、7000年以上生き永らえている縄文杉の神秘性をかえって損なうものと思いました。

加えて言えば、山の自然保護と山道の作り方に関して、予算ありきのお役所仕事は、自然災害や保守を無視しているようで、多くの疑問を残しています。宮之浦岳登山の事故が多いのではないかと思った次第です。

長い山の経験を掻き集め、あわや遭難の危機を免れて無事生還できました。

会員からのメッセージ

会員の皆様からのメッセージです。お元気でいろいろな分野でご活躍の様子や思い出など載っています。会報発行が年1回なので、時間のずれと誌面構成の関係で文字割愛をお詫びします。(敬称略)

川村 秀 3期

いつも感謝しております。何卒よろしく。

赤根 永子 6期

お陰様で元気です。品川・世田谷のボーリング場でリーグ戦に参加しています。フォークダンスは卒業。

都筑 孝夫 6期

田村先輩に登校時お世話になりました。自分は元気で月一回位、東京都スクエアダンス協会のパーティがあり多くの人たちが交流する会に参加し楽しんでます。

水澤 欣子 8期

会報有難うございます。今年は傘寿を迎えます。何とか周りの人達の力を借りて一人住まいも楽しく過ごしています。

宇治川 多嘉子 9期

会報を読んで、若き日にフランスからサンチャゴ・デ・コンポステーラのカテドラルの大香炉鈴振り、カウナスの杉原千畝記念館を見学し感動したことを思い出します。

志村 洋子 10期

会報で7期の写真に岸上先生がいらして、また、西田小の時を思い出しました。担任は田中渉先生でした。

西田卒業の5人兄弟も上が一人亡くなり寂しくなりました。

大友 和男 11期

元気です。

大久 保紀彦 11期

本年6月に78才となり車を手放しました。錢稼ぎは2014で終了。もっぱら趣味上の付き合いをしています。ボランティアでケア24南荻窪の要請で「あんしん協力員」に参加。

境 広子 12期

私は6月に上高井戸に引っ越しました。できれば荻窪から引越はしたくなかったのですがやむを得ず引っ越しました。、足・腰がすっかり弱くなり、娘についていってもらっています。

武田 喜一 12期

冬の里山歩きを楽しんでいます!!南大沢近辺に、越野、柚木、堀之内、地区があり多摩丘陵の一部です。尾根伝いに昔の生活道が八王子市内まで続いていたそうです。途中馬の水飲み場等があり。新しい道ができて、途切れ途切れになっていますが、林間を抜けて、富士山に見える場所は最高ですよ!

辻 喜代子 13期

子ども、孫たち大変お世話になっています。

塚本 晋也 13期

居合道の稽古を週2・3回して元気です。

長塚 一枝 15期

孫が4年生でお世話になっています。(現在5年生)

鯨井 佳子 16期

いつも会報を送っていただき有難うございます。

世良 隆憲 16期

英語学習を個人的に展開中。「西田英語村」活動に興味。

小川 隆 17期

元気です。

福永 陽子 18期

まだまだ元気で働いています。

浅見 雅夫 19期

今、西武鉄道がコマーシャルで宣伝しております埼玉県の秩父に縁があり、43年暮らしています。

安藤 公一 19期

あちこち錆びついていますが、今を楽しんでいます。

徳永 三枝子 20期

実家を処分したため、荻窪に行く機会が無くなり寂しいです。10月に6年3組(青木学級)のクラス会が開かれ10名くらいが参加しました。

角田 実枝子 20期

1年に一度クラス会をしている幹事です。とても仲の良い友人に恵まれています。

菅野 雅子 41期

来年1番下の子が西田小に入学します。

藤尾 幸司 45期

父、長男、長女、と3代西田小卒です。

維持会費制度について

■維持会費制度は、基本的に任意です。極力、会員の皆様のわしさとご負担を軽くするため平成20年に制度化され皆様方のご協力をいただいております。下記の通りです。

- ・維持会費は年間500円とし、5年分(2500円)を一括してお振込みいただきます。
- ・維持会費は卒業後概ね20年経過した時点での開始となります。

同封の〒お振込み用紙(2枚)の記載方法は下記要領でお願いします。振込み手数料はかかりません。

- ・1枚は2500円の維持会費金額が記載され維持会費振込み用です。
- ・もう1枚は金額が記載されていないご寄付振込み用です。
- ・郵便局が遠くで不便な方のために新たに銀行口座を設けておりますので、振込み手数料はご負担願いますが、下記口座にてもご入金いただけますのであわせてご利用お願い申し上げます。この場合、振込人フルネームのうしろに維持会費は(01)を寄付は(02)両方は(03)を付記記入をお願いします。

三菱東京UFJ銀行 荻窪支店 普通 0632539

名義 西田小学校同窓会

※なお、維持会費の有効期間(5年:平成26年以降納付の方)内の会員様には維持会費用振込用紙は入れておりません。有効期間が過ぎている維持会員の方には振込用紙を入れてありますので、ぜひご継続をお願いいたします。維持会費の納入状況がわからない場合はお問い合わせください。

新規ご登録、維持会費のお振込みをお待ちいたしております。

個人情報保護について

同窓会会則により個人情報保護について規定しております。

お名前、住所などの登録情報は名簿管理責任者を決め管理しております。名簿及びその他の個人情報や記事情報などは同窓会の活動(会報送付、同窓会開催、連絡)のみに使用し他への流用致しません。

ぜひ名簿登録(会報発送用)・アドレス登録にご協力ください。

メール通信網・IT活用

■会員の皆様でメールアドレスをお持ちの方は登録してください。

会長のメールアドレス或いは世話人・理事のメールアドレス(左ページのアドレス一覧)をご参照ください。



編集後記

■本号では7期中村昭様の「堺市思いで(仁徳天皇陵墓)紀行」と昨年に続き12期吉田浩二様の「屋久島&宮之浦岳登山」の記事を頂戴しました。

■皆様方からのご投稿有難うございました。同窓会の皆様と情報共有できるようにこれからも会報へのご協力をお願い申し上げます。

■小学校や同窓会とは無関係の記事でも結構です。内容が多岐であれば、より楽しく読めますので是非ご投稿をお願いします。

■広報委員は下記の方々です。(敬称略)

広報委員長:中澤 一郎13期

広報委員:吉田浩二12期、小林真人 14期、島田真理子 18期、栗田恒雅19期、萩原伸一 20期、高橋和彦 27期

ホームページ委員:小林真人 14期、田辺恵一 17期、武田修一 17期、坂本正夫 18期、萩原伸一 20期、福島良太郎 21期、高橋和彦 27期、長谷川雅也 32期